

山口大学医学部&附属病院から笑顔と情報を発信!

# 山/大/医/学/部

Yamaguchi University Faculty of Medicine and Health Sciences / Yamaguchi University Hospital

# 病/院/だ/よ/り

6

2024

Vol.265



「看護の日」記念行事にて





山口大学大学院医学系研究科長  
山口大学医学部長、山口大学医学部医学科長  
公衆衛生学・予防医学講座教授

## 田邊 剛

令和6年4月1日より、山口大学大学院医学系研究科長および医学部長、医学科長に就任しました。田邊剛（たなべつよし）と申します。

山口県は、幕末の思想家・吉田松陰が主宰した「松下村塾」で学んだ志士たちが近代日本の礎を築いた、歴史ある地です。本学部も先取の気風にあふれ、医学教育と研究の中心として多くの医師、医学研究者、医療行政者などを育成し、質の高い医療の提供と、医学の発展に貢献する拠点としての役割を果たしてきました。医学・医療の専門知識と技術を教授し、豊かな人間性を涵

養すること、医学・医療の変化、医師の社会的役割の変化への対応能力を育成すること、国際的視野に立って医学の発展および国際交流に貢献し、国際

化に対応できる能力を育成すること、医学・医療の知識や技術の向上に積極的に貢献し、創造的な人材を育成することを理念・目的としています。

近年では、AIやビッグデータなどの最新技術を活用した研究や、ゲノム医療・再生医療などの先進医療分野の研究にも積極的に取り組んでいます。特にAIの医学応用に関してはAIシステム医学医療研究教育センター

(AISMEC) を設立し、全国においても先駆的な役割を果たしています。

教育では臨床実習におけるコミュニケーションや、デジタル医療教育機器を整備し、デジタルトランスフォーメーション等の技術の活用により新しい教育プランを構築し、即戦力となり得る医療技術や医学知識を身に付けた人材養成を進めていきます。

今後も医学部は急激に変化する社会をリードする人材を育成するとともに、パンデミックなどの緊急事態にも柔軟に対応できる体制を構築し、世界に通じる研究成果を挙げることを目指します。

## このたび、就任しました。よろしくお願ひいたします。

このたび、山口大学医学部保健学科長に就任いたしました。山本 健（やまもと たけし）と申します。

本学科は、平成12年10月に設置され、平成13年4月に第1期生が入学しました。平成17年度には、保健学科を基礎として大学院医学系研究科保健学専攻が設置されました。すでに保健学科設置から23年、大学院の保健学専攻設置から20年が経過し、多くの卒業生や修了生が社会に羽ばたいています。

本学科には、看護学専攻と検査技術科学専攻の2つの専攻があり、特色として4つの国際化プロジェクトを実施

しています。1つ目は、外国人の専任教員による医療英語や基礎医療英会話、

国際看護学の授業です。2つ目は、わが国初の看護・健康科学領域の国際誌『Nursing and Health Sciences』の刊行です。3つ目は、看護・健康科学領域のリーダーを育成する国際交流事業、

APAHIL (Asia-Pacific Alliance of Health Leaders)です。チェンマイ大学、マヒドン大学、香港大学および本学の4大学が輪番制で当番校となり、学生・教員の国際交流を行っています。加えて、昨年度はタイのチェンマイ大学との交換留学生プログラムを実施しました。

4つ目は、本学科には看護学領域で權威のある国際名誉学会「Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing (Sigma)」の日本で唯一の支部が平成17年11月に設置されています。

保健学科および保健学専攻では、保健・医療の分野において、真理を探究し、人類の幸福と発展に寄与できる高度な知識・技術を持った医療技術者、高度専門職業人、および保健・医療の領域における科学的発展に寄与できる教育・研究者を育てることを目標に、今後も教職員一同全力で取り組んでまいります。



山口大学医学部副学部長  
山口大学医学部保健学科長  
病態検査学講座教授

## 山本 健



院内に新たな

令和6年3月7日(木)

ホ

## スピタルアートを設置

院内1階B・C棟の間、ライトコートに新たなホスピタルアートを設置しました。宇部市在住の建築家・平山悟さんの作品『スイート スマイル』です。作品は、90本の大小異なるステンレス製のピースで構成されており、このピースは草の穂を模していると同時に、大きいものは大人、小さいものは子どもを表しているそうです。規則性をもって同じ方向に並んだ大きなピースの間を、小さなピースが不規則に立ち並ぶ様子は、社会性を持った大人と自由奔放な子どもの姿を表現しています。穂をやさしく照らす自然光や吹く風によって表情が変わる、ライトコートに新たなホスピタルアートをお楽しみください。



制作者の平山悟さん



作品名『スイート スマイル』

設置までの様子について Instagramで動画を紹介しています



TOPICS

新人研修医の

令和6年4月2日(火)

## オリエンテーションを開催

病院業務の基礎はもちろん、実践的なトレーニングを行う、新人研修医のオリエンテーションが4月2日から1週間のスケジュールで行われました。このオリエンテーションでは、新人研修医は模型を使って胃管挿入や尿道カテーテル、採血や縫合などを練習しました。採血の場面では、お互いの腕を使って実際に注射針を刺す練習を行いました。医師としての第一歩を踏み出した新人研修医をどうぞよろしくお願いいたします。



模型を使ってトレーニングをする新人研修医

TOPICS

猶会長(右)と長谷川小児科長



骨髄バンクを支援する山口の会から、闘病中の子どもたちにプレゼントを贈りたいとお申し出があり、5月9日(木)、医学部において、贈呈式を行いました。この贈呈式は平成29年度から引き続き、8回目となります。式では、同会猶克実会長から長谷川俊史小児科長に文房具やハンドタオル、ぬり絵が手渡され、小児科長からは感謝状を贈るとともに「厚意に対する感謝の意が述べられました。」



### 1 子どもの日プレゼント

令和6年5月9日(木)

骨髄バンクを支援する山口の会から  
小児科入院患者さんへ

TOPICS

## 市民公開講座

令和6年3月2日(土)

# 「全」力で挑む難治がんの治療

本院の腫瘍センターが主催する第11回市民公開講座『全力で挑む難治がんの治療』をKDDI維新ホール(山口市)で開催しました。永野浩昭センター長による開会の挨拶後に、本院の消化器内科や消化器・腫瘍外科の医師5名が食道がん、胆道がん、膵がんの最新治療について動画やアニメーションを用いて、それぞれ20分の講演を行いました。各講演の終了後には井岡達也副センター長の解説があり、当日はFMきららによるラジオ収録も行われました。

詳細は山口大学病院 YouTube→



難治がんの最新治療について熱心に聞き入る来場者

TOPICS

松永病院長(右)から原田看護部長(左)へ花束贈呈



各病棟スタッフの作品を展示



## 記

### 記念行事を開催しました

5月12日は「看護の日」

令和6年5月13日(月)

ナイチンゲールの誕生日にちなんで5月12日は、「看護の日」と制定されています。その前後1週間(今年は12日から18日まで)は看護週間とされています。

本院では、5月13日(月)、5年ぶりに記念行事を開催しました。式では、松永和人病院長から日頃の看護に対する感謝が述べられ、原田美佐看護部長へ花束が贈呈されました。

続いて、展示企画として「(看護・部署・私の)自慢」「(看護・部署・私の)癒し」などをテーマに各病棟スタッフが作成した川柳や写真、書道の優秀作品が発表され、松永病院長から表彰されました。

多くの方に参加していただき、改めて看護の大切さを知る良い機会となりました。

TOPICS



## 「医師の働き方改革」が始まりました

医療の未来を変える、医師の働き方

「医師の働き方改革」についてのポスター

令和6年4月より、医師の働き方改革の新制度が施行され、医師の残業時間の上限に関する制度が設けられました。それに伴い、本院でも医師の長時間労働を改善する取り組みを行っています。

つきましては、待機手術の日程延期を、前日あるいは当日にお知らせする場合がございます。また、「複数主治医制」「タスクシフト・タスクシェア」などの取り組みにより、「いつもの先生」以外の医療スタッフが対応する場合もございますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

患者さんやご家族への病状説明を診療時間内に実施することや、外来受診の受付時間を短縮するといった取り組みも始まっています。決められた診療時間内での受診にご協力いただくとともに、特に病状や検査、手術などの説明を受けられる場合は、一層ご協力をお願いいたします。



患者さんにはご迷惑をおかけいたしますが、より安心・安全な医療体制を築くために職員一同努めてまいりますので、なにとぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## かかりつけ医によるCT・MRIの紹介検査受け付けます

検査結果は、かかりつけ医にお返しします

本院では令和6年2月1日より、かかりつけ医によるCT、MRI（単純検査）の受付を開始しました。地域の医療機関において、患者さんのCT・MRI検査（単純検査）が必要になりましたら、本院で検査を実施し、その結果を紹介いただいた医療機関にお返しします。検査が必要な場合は、あらかじめかかりつけ医にご相談ください。

### CT検査枠

水・木曜（祝日除く）12～13時/1日5件

### MRI検査枠

木・金曜（祝日除く）12～13時/1日2件

※小児（14歳以下）の患者さんについては、本運用の対象外となります。  
※造影剤を使用しない単純検査のみです。



# PRESS RELEASE

プレスリリース

## ■木村和博教授らが多点マイクロ電極を開発

早稲田大学大学院情報生産システム研究科の三宅文雄教授、アザハリ・サマン助教の研究グループと本学大学院医学系研究科眼科学講座の木村和博教授と芦森温茂助教らの研究グループは、市販のコンタクトレンズに搭載可能な、小さく透明で柔らかい多点マイクロ電極を開発しました。これにより、これまで技術的な課題があった網膜の局所的な応答を測定することが可能となり、この成果が緑内障や網膜色素変性症に伴う盲点評価につながることを期待されます。

詳しくはこちら→



## ■炎症性腸疾患の治療に新たなアプローチ

大学院医学系研究科病態制御内科学講座（第三内科）の研究グループ（梶邑泰子診療助教、田口昭彦講師・責任著者、太田康晴教授）は、システムズ再生・病態医化学講座の清木誠教授、浅岡洋一講師、微生物学講座の柴田健輔講師らとの共同研究により、病因について謎が多いクローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患の治療に新たな展望をもたらす発見をしました。

これは、生体内リズムを司る出力系時計遺伝子 E4BP4 に着目し、マクロファージにおける E4BP4 の発現を高めることで、マウスの大腸炎の重症度を低下させるというものです。この成功により、体内リズムの適正化が大腸炎の改善につながる可能性が示唆され、新たな治療法の開発に大きな期待が寄せられています。

詳しくはこちら→



## ■肝がんの新規診断インデックスを開発

大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学講座の山崎隆弘教授、末廣寛准教授と大学院医学系研究科医学専攻の宗勇希さん、消化器・腫瘍外科学講座の永野浩昭教授および消化器内科学講座の高見太郎教授らの研究グループは、肝がんに対する新規診断インデックスを開発しました。

詳しくはこちら→



### 石黒旭代助教が APASL2024で受賞

臨床検査・腫瘍学講座の石黒旭代助教が、国際学会である APASL2024（アジア太平洋肝臓学会）において、若手研究奨励賞である Investigator Award を受賞しました。

この賞は若手研究者の学会発表の中で、優れた研究内容に対して授与されるものです。発表の題目は「早期ステージ肝細胞癌診断のための、糖化フェリチンを用いた新規高感度検査法」です。

詳しくはこちら→



不定期連載

### 縁の下の力持ち



VOL.01

本院の運営を支えている  
皆さんをご紹介します！

### 警備員

職員16人のうち、2交代制で日勤6人、夜勤5人の計11人が日々警備に当たっています。主な業務は病院と医学部内の巡回、鍵の施錠や開錠、外来棟での案内業務、ギャラリーでの面会受付、ロータリーでの車の誘導などです。生命・身体・財産を守る警備の仕事では、患者さんの安全を第一に考えるとともに、お問い合わせ等があった場合には話をよく聞き、何を求められているかを確認し、的確な答えや案内ができるよう努めています。



（左から）渡辺嘉広さん 赤瀬明広さん 杉山直登さん

現在、本院の工事に伴い、診療科などの場所が移動することがありますので、場所が分からない場合はお気軽にお尋ねください。



# 「治験」ってご存じですか？

ちけん

教えて、先生！



臨床研究センター  
有馬秀樹 先生

治験とは、新しい医薬品などを開発する最終段階において、人に対する効果と安全性を調べるため、患者さんに協力していただいで行う試験の事です。治験の実施にあたっては、薬全般に関する法律「薬機法」と、これに基づいて国が定めた「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令」(GCP)という規則に基づいて行われます。

治験を実施する前に、まずは動物を対象にした試験を実施します。これは非臨床試験と呼ばれるもので、治験対象の効果と安全性を調べます。結果が良ければ人を対象とした臨床試験に進みます。これがいわゆる「治験」です。治験の実施にあたり、患者さんには事前に十分な説明をしたうえで、協力を承諾する旨の同意書を書いてくださった方にのみ実施します。治験で得た結果を基に国が審査し、承認されればその製造・販売が可能になります。

治験について、実際に取り組んでいる先生に話を聞きました。

治験の実施は大学病院の使命でもありますので、可能な限り引き受けています。治験の内容によるところはありますが、前向きに参加して下さる患者さんが多いと感じています。

治験では、検査や受診の回数が多いケースもありますが、治験に関する費用の患者さんの負担はありません。2021年頃に実施した診断ソフトウェアの治験では当科から40例実施しました。そのソフトウェアに関しては2023年8月に製造承認が下り、患者さんのご協力が実を結ぶ形になりました。

製薬会社などの企業が主導で行う治験の場合、治験にご協力いただく患者さんの治療薬代や検査費用、入院費用などは、ほぼ企業側が負担します。ですから、患者さんにとっては自己負担なく治療を受けられる点がメリットといえると思います。

さまざまな治験の募集があるなかで、どの治験を受けるかは医師が選別していますが、その際は比較対象となる標準治療の内容に注目しています。治験薬を使った新治療のみならず、標準治療の内容も十分吟味、検討した上で、患者さんにとってメリットがある治験をご紹介しますように努めていますから、その点は安心していただければと思います。

本院は「教育」「研究」「診療」の役割を担う国立大学医学部附属病院として、治験にも積極的に取り組んでいます。その詳細や取り組みについて紹介します。

第二内科

岡村誉之 准教授

本院では、関係する職員を対象に治験や臨床研究などの相談を受け付けています。疑問や相談がありましたらお気軽にお問い合わせください。

臨床研究センターなんでも相談室

開設日：毎月第1月曜、第2金曜

開設時間：17:30~18:00

開設場所：新中央診療棟1階 クロスラウンジ

事前申込：不要

開設日：毎月第3水曜、第4火曜

開設時間：14:00~14:30

開設場所：臨床研究センター会議室(院内クリーニング店隣)

事前申込：不要

泌尿器科

小林圭太 助教



栄養治療部発

# 元気のみなもと

Genki no Minamoto



Recipe

病院食ができる様子を  
山口大学病院YouTubeで  
紹介しています



本日のメニュー

当院自慢の

## ヘルシー酢豚

### 栄養成分(1人分)

エネルギー	267kcal
たんぱく質	20.8g
脂質	8.1g
食塩相当量	1.5g

※外食で食べる酢豚のエネルギーを約50%カットしています。

### 材料(1人分)

豚ひれ肉	80g
片栗粉	8g
食用油(揚げ用)	5g
たけのこ	20g
しいたけ	25g
にんじん	20g
玉ねぎ	30g
缶詰のパイナップル	15g
さやいんげん	20g
食用油(炒め用)	2g

### 調味液(A)

しょうゆ	2g
酒	2g
おろししょうが	1g

### 調味液(B)

酒	2g
食酢	8g
しょうゆ	5g
砂糖	9g
トマトケチャップ	5g
ウスターソース	2g

【栄養治療部より】  
病院的の食事にも本格的な味わいの中華を提供しています。酢豚は作業工程が多いですが、仕上がりの見た目が良くなるように努めています。

### 家庭での 時短ポイント

- にんじん、たけのこの乱切りは厚みを薄くする。
- にんじん、玉ねぎを下茹でまたは電子レンジにかけておく。

元気の源は食事から。ということで、  
患者さんの食事をサポートしている栄養治療部より、  
栄養バランスを考慮したおすすめ料理を紹介します。  
ご家庭でぜひ作ってみてください。



### 作り方

- ①肉は一口サイズにカットし、調味液(A)に1時間程度つけておく。
- ②①の肉に片栗粉をつけて油で揚げる。(油切りをしっかりとしておくこと)
- ③野菜をカットする。  
たけのこ・にんじん→乱切り  
しいたけ→1/4カット  
玉ねぎ→3cm程度の角切り  
いんげん→3cmのぶつ切り(下茹でをしておく)  
パイナップル→1/6カット
- ④調味液(B)をよく混ぜ合わせる。
- ⑤③の野菜を堅いものから順に(にんじん→たけのこ→しいたけ→玉ねぎ→パイナップルの順に)油で炒める。
- ⑥野菜に火が通ったら、肉・茹でたいんげん・調味液(B)を入れ、一気に炒めて完成させる。
- ⑦混ざったら皿に盛り付ける。



公式FacebookとInstagramで  
山大医学部・病院の情報を発信中



Facebook



Instagram

企画発行 山口大学医学部広報委員会 / 山口大学医学部総務課広報・国際係  
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2111  
医学部 <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/med/>  
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>